

ぴんく・ぱんさぁリボンズハウス

所在地：沖縄県浦添市城間 2-3-1-105

2016 年度のリボンズハウスの活動内容

◎ウィッグ相談日開催…第 2.4 火曜日

抗がん剤治療で脱毛を経験した美容師さんたちが、アドバイス

◎ピーチ会（20～40 代の若いメンバーの会）開催…第 2 水曜日

奇数月…ビューティーモードカレッジの学生ボランティアによるハンドマッサージとネイル
偶数月…ユンタク（おしゃべり）会

◎リンパ浮腫勉強会…第 4 水曜日

勉強会の教材となる冊子を 6 月に発行する予定で準備中。

（NPO 法人ハッピーマンマの「ハッピーマンマ ハッピーサポート 2016」の助成金により制作）

◎「沖縄文化芸術によって乳がん患者が元気になるプログラム」

With you～OKINAWA2016 の患者懇親会で、披露。

リボンズハウスで練習や衣装づくりなどの準備を行った。

◎冊子『ぴんく・ぱんさぁ 11 号』の発行

最もやってよかった活動とその理由

平成 28 年 10 月 27 日～30 日の 4 日間、「第 6 回 世界のウチナーンチュ（沖縄県人）大会」が開催された。

「世界のウチナーンチュ大会」とは、世界に雄飛した沖縄県人の功績を称えるとともに、文化経済などの各分野で世界のウチナーンチュと県民との交流を通じた様々な取り組みがなされる大きなイベントで、5 年に 1 回開催される。

そこに『チームぴんく・ぱんさぁず』（乳がん患者と支えてくれるサポーター）として、ピンクリボン活動のブースを出展。ブースでは来場者に

- ・ピンクリボンシールを配布。胸や指などに貼ってもらって、ピンクリボン活動の意義を共有してもらった。
- ・乳がん検診触診ボディを展示。認定看護師が指導についてくださり、体験してもらった。
- ・J-POSH 提供のセルフチェックティッシュを配りながら検診受診の啓発（2000 個配布）
- ・海外のメンバーには、乳がんサバイバーのブースであり、私たちの活動の説明をしながら沖縄の「黄金言葉」を書いたはがきをお土産にさし上げた。
- ・乳がんで悲しむ女性がいなくなる願いを込め、ダイナミックピンクリボンに♥ハートを貼ってもらった
- ・「沖縄文化芸術によって乳がん患者が元気になるプログラム」の DVD を流して紹介。

* 英語・スペイン語・ポルトガル語の 3 か国語の説明ボードを持っての活動だったが、4 日間を楽しく終えた。

海外のメンバーで「自分も乳がんサバイバーである」「自国でピンクリボン活動をしている」という方々もいて、沖縄ならではの活動ができた。（4 日間はボランティアを含め 55 名で活動）

これらの準備（設営やお土産づくりなど）を、サロンで行った。

課題

- ・スタッフの育成（勉強会など）と、土日もオープンしてほしいという声が多いことの対応

NPO乳がん患者の会「びんく・ばんさあ」(与儀淑恵代表)が「第6回世界のウチナーンチュ大会」の一環で10月27日から開かれる「うまんちゅ大交流祭」に出展し、県内外の来場者に乳がん検診の受診と、早期治療の大切さを呼び掛ける。ピン

クリボン月間(10月)にちなんで取り組み。大交流祭は沖縄セルラーパーク那覇で30日まで開催される。同会のメンバーは乳がん手術などで起きるリンパ浮腫の予防とリハビリを兼ねたオリジナルの踊りも披露する。

検診、早期治療 内外に発信



乳がんの「触診モデル」を開発するキューカンパニーの橋本樹穂子代表(中央)と、「うまんちゅ大交流祭」に出展し、乳がん検診の受診を呼び掛ける「びんく・ばんさあ」のメンバー＝13日、浦添市の会事務所

「第6回世界のウチナーンチュ大会」は、10月27日(土)から30日(月)まで、沖縄セルラーパーク那覇で開催される。乳がん患者の会「びんく・ばんさあ」(与儀淑恵代表)は、この大会で乳がんの早期発見の大切さを伝えたいと、担当を請うた。同会の宮里まり子さんは、検診は乳癌の専門医にぜひ診てもらって」と話した。

同会の展示ブースには、乳房の形の模様に触れてし

乳がん患者の会「びんく・ばんさあ」 ウチナーンチュ大会出展

ライフスタイル

文化・健康・美容
TEL.098(865)5162
FAX.098(865)5196
メール:life@ryukyu-life.co.jp

本誌1
資料

こりの見つけ方が学べる「触診モデル」を開発するほか、自己検診の方法を伝えるビデオを配る。触診モデルは、チャリティーゴルフ開催を通して同会を支援するキューカンパニー(橋本樹穂子代表)が開発した。交流祭では、チーム「びんく・ばんさあ」を旗打り、会員の家族らにもブースの出展を担ってもらう予定。

ひと・暮らし